これまでの検討内容を整理したもの

(1) 意見が挙がった背景(主なもの) (2) (1)の背景から 4 つの基本検討項目ごとに意見を整理したもの

第 20 回みんなで創る自治基本条例市民会議資料 平成 18 年 4 月 27 日 (木) 上越市 企画・地域振興部 企画政策課

資料 2

(1) 总兄が事がりに自泉(土なもの) (- ₁ ,	(2) (1)0,	/月泉かり4ノ 	の基本快削項目とこに息兄を整连 <i>しに</i> も0. 	, -,	(3) (2	2)に フゖし 	.、土品及ひ息味占いの強さの税点から空珪したもの
市民参加・参画 ・間接民主主義に偏った行政から脱却すべき (議員に頼るだけでなく、直接参加する) ・市民みんなでまちづくりをすべき ・自主自立の意識が不足している ・まちづくりへの市民の無関心さが気になる ・市民が気楽に声を出せる制度がほしい ・市の制度がわかりにくい ・市の事業の様々な段階から市民が参加すべき		市民参加・参画	誰もが参加・ 参画できる 意識の醸成 市民意見を 市政に反映 させる仕組み	・市民みんなでまちづくりに参加・参画できること ・市民が市政、まちづくりに関心を持ち、サービスの担い手として自主自立の意識を醸成すること ・市民参加・参画の制度をわかりやすいものにし、市の事業の様々な段階から市民の意見を取り入れ、市民が直接まちづくりに参加・参画できること ・市民が市政及び地域のまちづくりに参加・参画で		市民加・参画	基本原則 意識の 醸成	・市民は、市政、まちづくりに参加・参画することができる。 ・市は、市民が市政、まちづくりに参加・参画できることを保障しなければならない。 ・市民は、市政、まちづくりに関心を持つよう努める。 ・市は、市民が市政、まちづくりに関心を持つように努める。 ・市民は、まちづくりの担い手として自主自立の意識を持つよう努める。 ・市は、市民がまちづくりの担い手として自主自立の意識を育むように
・ の事業の像々な技術がらけ広が参加すべる	<u></u>			きるようにする			制度	努める。 ・市は、市民参加・参画の制度をわかりやすいものにしなければなら ない。
住民投票制度]							・市は、住民意思を確認するための住民投票制度を設けなければな
・直接的に住民意思を確認できる住民投票制度が 必要		住民	住民投票制度	・住民投票制度をルール化し、住民意思を直接的に確認できるようにすること		住民 投票 制度	住民投票制度	
・住民投票を自由にできる制度が必要]	制度		・住民投票制度を設ける][אניקוי <u>א</u>		・市及び市議会は、住民投票の結果を尊重しなければならない。
情報 ・情報の公開と共有がこれからは必要 ・情報は一元化されていなくてはならない			情報の 公開、提供	・行政に関する情報が市内外にわかりやす〈公開、 発信され、市民が容易に入手できること ・市の財政についての情報も公開されること			情報公開	・市民は、市政に関する情報の公開を、市に請求することができる。 ・市は、市政に関する情報を、市民にわかりやすく十分に公開しなければならない。
・市の情報提供は市民にはわかりにくい ・市は説明責任を果たしていない ・個人情報は守る必要がある	 /		情報の共有	・行政に関する一元化された情報を、市民が多様な 方法で共有でき、 さらに相互に情報及び意見を交換できる場を持つ		情報	情報提供	・市は、市政に関する情報を、市内外に積極的に提供するよう努める。
			市民の	こと ・ 市は、市政に対する市民意見を積極的に受け付			情報保護	・市及び市議会は、市民の個人情報を保護しなければならない。 ・市民は、市民の個人情報を保護しなければならない。
			意見	け、それらを公開すること		 		
			説明責任	・市は、市政の全てにおいて説明責任を果たすこと		 		
			情報公開	・行政が市民に市政に関する情報を十分に公開する				
			情報入手	・市民が、必要な情報を簡単に入手できるようにする	ļį	 		
			情報共有	市民と行政が情報を共有する		 		
			情報保護	・個人情報を守る				
			情報の 区分	・情報の提供及び非提供、公開及び非公開を決める仕組みを明確にする				
			情報伝達	・行政から市民への情報伝達の手段を明確にする	ļ	 		
	1				1	i		

市民の役割、責務 ・自分たちのまちを自分たちで良くするという 気持ちが大事 ・考える、声を挙げる、参加する。できれば行 動する ・社会生活をしていくうえで決められたことは ・市民同士の思いやりが大事 ・市民には責務ではなく役割である ・役割と責務は表裏一体 ・行政も議会も皆市民であり、立場の差がある だけである ・女性の井戸端会議は情報伝達機能を果たして いる コミュニティ ・「向こう三軒両隣」など、絆で結ばれた地域社会が 崩れつつある ・顔の見える範囲を大切にしながらも、共通のルー ルが必要 ·町内会や住民組織、NPO など、コミュニティは多様 化している ・コミュニティの定義があいまい ・コミュニティどうしの交流が少ない 市の責務 ・行政は発言と行動に責任を持つべき ・大きな問題と小さな問題に差別をつけない ・市民にもっと開かれるべき

・情報は迅速に、タイムリーに

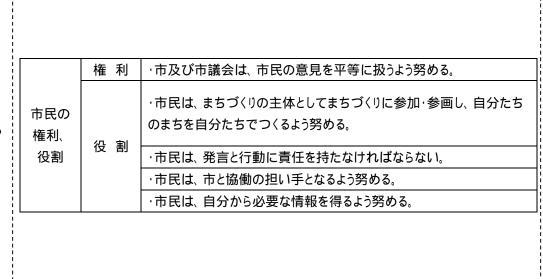
・行政はもっと現場をみてほしい

・行政にも経営責任はある

・職員の資質が大事 ・行政は政策集団である

		まち	づくりの	主体(担い手)は 「市民」、「市議会」、「市」		
		22		 		
		業」				
				・まちづくりに参加、参画する		
				・まちづくりの主体として、自分たちのまちを自分た		
				ちでつくる	i - -	:
				・発言と行動に責任を持つ		
+00				・市長、市議会議員を的確に選ぶ	<u></u>	┆│市
市民の		役	割	・決められたルールを守る	 	┆│椎
役割、 責務				・行政と市議会を監視する	 	1
貝仍				・市民同士、お互いに思いやる		
				・協働の担い手となる		i L
				・コミュニティの形成に努める	-	 -
				・情報を取捨選択する能力を身につける		
				・しっかり納税する		i i i
		責	務	・開示された情報については守秘する		
				・自分から必要な情報を得る		
				・市民の権利、義務、責務を明確にする		
	1					
		定		・コミュニティの定義を明確にすること		
コミュニ		交		・コミュニティ内外の交流を活発にすること		
ティ		地玛	て 終一	・絆で結ばれた地域社会づくりをすること	, <i>V</i>	•
				·各種コミュニティのあり方、位置付けを明確にする		
						<u> </u>
		まち	5づくりの	D主体(担い手)は 「市民」、「市議会」、「市」		¦
				・情報提供、情報公開をする		
				・公平な行政運営をする		
				・経営責任を持つ		
				・説明責任を果たす		
				・市民の生命、財産を守る		

	まちづくりの	D主体(担い手)は 「市民」、「市議会」、「市」
市の責務	責 務	・情報提供、情報公開をする ・公平な行政運営をする ・経営責任を持つ ・説明責任を果たす ・市民の生命、財産を守る ・市民の声を組織として受けとめ、市政に反映させる ・現場を見て仕事を進める ・市民と協働してまちづくりを行う ・専門的知識を持つ職員を養成する ・まちづくりに参加できる機会や手段を提供する ・まちづくりの担い手が能力を発揮できる環境や体制を作る ・スピーディーな行政運営、対応をする ・自分から進んで地域全体を考えていく



		・市民は、コミュニティの形成に努める。
] <u>\</u> _		・市は、コミュニティの定義、あり方、位置付けを明確にしなければなら
ー コミュー ー ティ	あり方	ない。
) 1		・市民、市及び市議会は、コミュニティの自主性及び自立性を尊重し
		なければならない。

・市は、市政に関する情報を公開しなければならない。

		・市は、公平な行政運営を行わなければならない。
		・市は、経営責任を持たなければならない。
		・市は、市政の全てにおいて説明責任を果たさなければならない。
		・市は、市民の声を市政に反映させるよう努める。
		・市は、専門的知識を持つ職員を養成しなければならない。
市の	責 務	・市は、市民がまちづくりに参加・参画できる機会や手段を提供しなけ
責務	貝物	ればならない。
		・市は、まちづくりの各担い手が能力を発揮できる環境や体制をつくる
		よう努める。
		・市は、迅速かつ的確な行政運営及び対応をしなければならない。
		・市は、市政に対する市民意見を積極的に受け付け、その意見に対 する市の考え方を公表しなければならない。





			まちづくりの	D主体(担N手)は 「市民」、「市議会」、「市」	 - - -	! !			
市議会の責務 ・議員は発言と行動に責任を持つべき ・市の発展と展望を抱くべき ・議会も市民に開かれてほしい ・総合的、建設的な政策を立案してほしい ・行政をチェックしてほしい		市議会の責務	・・行政を監視する ・・市民と行政の橋渡しになる ・政策を立案する ・自らの発言と行動に責任を持つ ・市の発展と未来の展望を考える ・市民に開かれた議会を心がける ・動いて、視て、聞いて、考える ・選挙における地域との約束を果たす ・議員活動と議会活動を区別する ・市民全体の代表という意識を持つ ・市民の安全・安心を確保する			市議会 市議会 の の 責務 責務		・市議会は、市を監視しなければならない。 ・市議会は、市民に開かれた議会を心がけなければならない。 ・市議会は、市民全体の代表という意識を持たなければならない。 ・市議会は、次世代を見据えた市政の運営を図らなければならない。 ・市議会は、広く市民の声を聴き、議会に反映させなければならない。	
				・市議会の役割と責務を明確にする		; ! ! ! !			
協働 ・市民と市が助け合うことが大切 ・サービスの受け手になるだけでなく、担い手にもなるべき			役割と責務	・市民と行政の役割と義務、責務を明確にすること ・市政運営を透明にし、市民と行政が信頼関係を築			あり方	・市は、協働の目的、理念、あり方を明確にしなければならない。 ・市民は、市と協働するよう努める。 ・市は、協働について職員教育をしなければならない。	
・市民と行政は、対等な立場で共通の課題に取り組むべき ・市民と行政は信頼関係を持つべき ・市民と行政の役割と責務が不明確 ・まちづくりの基本は協働であるが、協働の定義が不明確		協働	信頼関係	くこと		: 協働	役割と責 務	・市は、まちづくりについての市民と市の役割と責務を明確にしなければならない。	
			原則·定義	・協働の原則、定義を明確にすること ・協働の目的、理念、あり方を明確にする	 - -		³³ 対等関係	・市民と市は、対等な関係をもたなければならない。	
				加)			信頼関係	・市は、市政運営を透明にし、市民と市が信頼関係を築くようにしなければならない。 ・市民は、市と信頼関係を築くように努める。	
平価 納税者である市民が満足する事業をしてほしい 市の自己評価だけでは不足であり、市民や第三者		評価	評価への的確な対応	・状況の変化に応じた事業評価をすることにより、納税者でありまちづくりの主役である市民が満足するまちづくりを行うこと		評 価 -	評価	・市は、市の事業や業務について評価を行わなければならない。 ・市は、評価の結果を公表しなければならない。 ・市は、市の事業や業務の各段階における評価に、第三者評価や市	
語評価すべき 市の評価の仕組みや結果がわかりにくい	V		第三者評価	・市の事業や業務の各段階における評価に、第三者評価や市民の参加による評価を行うこと ・市政をわかりやす〈評価する	V		第三者 評価	民の参加による評価を行うよう努める。	
男女共同参画 まだまだ風習にとらわれ <i>て</i> いる		男女	意識の醸成	·老若男女を問わず、誰もが平等な立場でお互いを パートナーとして認め合うこと		男女	意識の	・市民は、老若男女を問わず、誰もが平等な立場でお互いをパートナーとして認め合うように努める。	
・まだまだ風習にとらわれている ・男女共同参画の認識が足りない ・町内会役員などに女性がいない ・男女が平等の立場で参加できる環境づくりが必要		共同参画	地域社会	・地域社会において、風習にとらわれずに男女共同参画を推進すること		共同	醸成	・市は、市民が老若男女を問わず、誰もが平等な立場でお互いをパートナーとして認め合うようにしなければならない。	
				・男女共同参画社会を推進する	1:	! "		・市民及び市は、地域社会において、風習にとらわれずに男女共同	

財政 ・市の財政状況の情報公開が不十分 ・市の財政運営にも市民が参加・参画すべき ・市と市民の財政負担の分担がわかりにくい ・市の財政運営は健全でなくてはならない	財政	情報の 公開、提供 ・市の財政についての情報も公開されること 財政運営へ ・市の財政運営へ市民が参加・参画できるようにす の参加・参画 る 財政負担 ・市と市民の財政負担の分担を明確にする	財政	情報公開健全財政	・市民は、市の財政についての情報の公開を求めることができる。 ・市は、市の財政についての情報を市民にわかりやすく十分に公開しなければならない。 ・市は、市の財政を健全に運営しなければならない。
安全・安心 ・災害時に必要なのは相互扶助である ・地域全体で安全・安心を守らなければならない ・災害時に情報が正確に市民に伝わらないと困る ・女性や子どもなど、弱者はみんなで守るべき ・安心して子育てをしたい ・老後も安心して過ごしたい	安全・安心	健全財政 ・市の財政を健全化させる ・地域全体で助け合いの精神を持ち、市民レベルの 防災、防犯対策をしていくこと ・災害時の情報が、市民まで正確に伝達されること ・女性や子どもの心と体を守っていくこと ・子育てや老後について、安心して過ごせるまちづくりを行うこと ・あらゆる分野で市民が安全・安心に暮らせるように する	安全・安心	防災、防犯	・市民は、地域全体で助け合いの精神を持ち、市民レベルの防災、防犯対策をするよう努める。
条例の位置付け ・自治体の憲法であるなら、最上位の条例であるべき ・他の条例や規則にも自治基本条例の規定が尊重されなければ、自治体の憲法の意味がない・時代や情勢の変化に応じて、自治基本条例は臨機応変に改正されるべき	自治基本 条例の 位置付け、 改正手続	自治基本 条例の 尊重 位置付け・自治基本条例の位置付けを明確にする 改正手続・自治基本条例の改正手続を制度化する	自治基本 条例の 位置付け、 改正手続	規範性	・自治基本条例は、市の最上位の条例に位置付けられなければならない。 ・市は、他の条例、規則等の制定及び運用に際し、自治基本条例の趣旨を最大限に尊重し、整合性を図らねばならない。 ・市は、自治基本条例の改正手続を制度化しなければならない。
人材 ・誰もが自由に学習できる機会と場がほしい ・市民参加・参画を進めるためには、まとめていくリーダーが必要 ・次世代を見据えていくべき ・郷土を愛する心や参加する心が不足している ・まちづくりは「人づくり」である	人 材 (教育)	学習 ・全ての市民が公平で自由に学習ができること ・まちづくりのリーダー(指導者)やコーディネーターを育成すること ・ 人づくり ・ 次世代を見据えたまちづくりをし、後継者を育成す (人材育成) ること ・ 人を大切にする心や郷土愛、まちづくりに参加する意識を育てること ・ まちづくりのリーダーやコーディネーターを育成する	人材	人材育成	・市は、次世代を見据え、まちづくりのリーダーやコーディネーター 及び後継者を育成するよう努める
交流 ・合併後の一体感の醸成のためには、地域間の交流が大切 ・世代間の交流が不足 ・市外の人々との交流も大切	交流	地域間交流 ・情報発信により、市内外の地域間交流を活発にすること 世代間交流 ・世代間交流を活発にすること ・市内各区・地域の交流を活発化させる	交流	交 流	・市民、市及び市議会は、市内外及び世代間の交流が活発に行われるよう努める。

·-----

r------

- ・全ての市民はまちづくりに参加する権利がある
- ・市民はお互いが平等である
- ・合併して一つの市になったので、全市的に平等な まちづくりでなければならない
- ・一方で、各区の歴史や文化を大事にしなければな らない
- ・市民と行政が平等で信頼関係を持つことが大切
- ・様々な差別がまだ残っている
- ・人権を尊重する
- ・ハンディのある人や老人、子どもなどを今後も大切 にしていく

地域内分権

- ・地域自治区を存続させるべき
- ・地域協議会の恒久的設置が必要
- ・地域自治区の位置付けがあいまいである。

歷史·文化

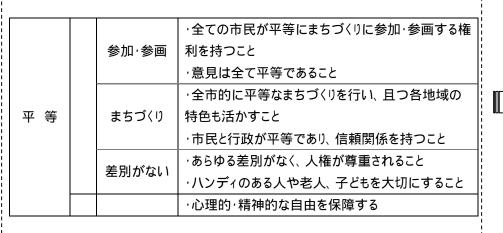
- ・地域の歴史、文化、伝統、自然など、地域の良さは 次世代へ伝承すべき
- ・歴史や文化が産業振興や文化振興に活かしきれ ていない

住みやすさ

- ・住みやすさの指標にもとづくまちづくりが大切
- ・長く住み続けられるまちづくりが大切
- ・働く環境が不足しているため、若者が戻ってこない
- ・福祉ももっと充実すべき

環境

- ・「ゴミを出さない」、「ゴミの再使用」、「ゴミの再利 用」が大切
- ・食の安全が不可欠
- ・自然環境を守るべき
- ・景観を守るべき



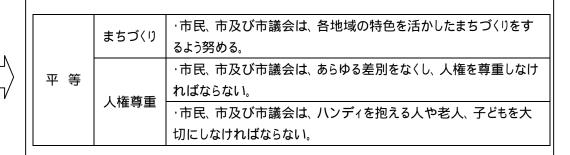
ᆊᆉᇓᇠ	地域自治区、	・地域自治区の位置付けを明確にし、地域協議会
地域内 分権	地域協議会	の設置期間についても協議していくこと
刀惟	地域内分権	・地域内分権のあり方を明確にする







	歴史・文化の	・地域の歴史や文化、伝統、自然を尊重したまちづく
歴史·文化	尊重	りを行い、産業振興、文化振興、観光に活かすこと
		・伝統・文化を守り伝え、地域資源を生かす
	定住性	・住みやすさの指標にもとづいて、長く住み続けられ
住みやすさ	足住住	るまちづくりを行うこと
	生活環境	・働く環境や福祉を充実させること
		・「ゴミを出さない」、「ゴミの再使用」、「ゴミの再利用」
	生活環境	をさらに推進していくこと
		・食の安全を確保すること
環 境	景観保全、	点处T=14 = 12 = 12 = 12 = 12 = 12 = 12 = 12 =
	保護	・自然環境、景観を保全、保護すること
	自然環境	・環境や自然を守る
	生活環境	・ゴミを減らす
		・情報を共有することにより、まちづくりについての共
共通認識		有認識を持つこと
		・市民相互の連帯感を持ってまちづくりを行うこと
その他	まちづくり	・広い視野に立ち、合併してよかったと思えるまちづ
(C 0) [B	257/9	くりをすること
市民意見		・市民の意見を市政に反映させる
行政の監視		・市民が行政を監視する
通学区域(過		・過疎化に歯止めをかける
疎化防止)		・地球化に困止めをかりる
発言、行動へ		・発言、行動に責任を持ち、お互いを尊重しあう
の責任		・ 光白、11 新に貝はを持ち、の互いを守里しの)
地域格差		・地域格差を是正する
市議選		・市議選の広報をテーマ制にするなど、わかりやすく
型類に		する
パプリックコメント		・パプリックコメント制度を条例化する
景観、土地		・景観・土地開発をルール化する
開発		- 宗氏・工造別力でルール10gの



都市内	+ 11 +	・市は、地域自治区のあり方を含めた都市内分権のあり方を明確に
分権	あり方	しなければならない。

- ・他の大項目や前文などにまとめる
- ・自治基本条例にはそぐわないと思われるものについては削除する

- 5 -